

科目名	社会福祉演習Ⅲ N					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3252

●授業のテーマ

社会福祉従事者、心理職としての実践力と精神力を高める

●到達目標

対人援助者としての傾聴とコミュニケーション能力を高めることができる。また、対人援助者としてのカウンセリングの基本的態度を身につけることができる。さらには、個人の研究テーマを設定し、卒業論文を作成することができる。

●学習内容(授業概要)

対人援助において、利用者、その家族との間に必ずコミュニケーションが生じる。社会福祉従事者は、利用者や家族が何をいっているのか、何を要求しているのかを確実に把握し、理解するといったコミュニケーション能力を高める必要がある。それにはまず利用者の話を徹底して聴く姿勢（傾聴）から始まる。傾聴といっても、違う人間であるため、それぞれ異なった観念を持っているので、相手の話を聴き、理解することは難しいと思った方がよい。そこで、社会福祉の現場においても、利用者と家族を理解するために、傾聴を主体としたカウンセリングの理論と技法は有効であると考えられる。

社会福祉演習Ⅲでは、カウンセリングを体験的に学び、また対人援助者として自己理解、他者理解を深める体験学習を通じて、社会福祉従事者、心理職としての実践力と精神力を高めるための一助となれればと考えている。

卒論、ゼミ論作成のための指導も予定している。（キーワード：傾聴、コミュニケーション、ボランティア、カウンセリング、実践力、精神力）

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
2. 動機は何か ーなぜ社会福祉、心理を学ぼうと思ったのか、
なぜ社会福祉士、精神保健福祉士、認定心理士を
と思ったのかー
3. 対人援助者としての基本的姿勢
4. 対人援助者として子ども、保護者にかかわるうえで重要なこと
4. カウンセリングとは
5. カウンセリングの目標と基本的特徴
6. カウンセラーの基本的態度
7. カウンセリングの技法（傾聴、受容、共感など）
8. 悩み、ストレス、心の問題の発生過程及び解決方法
9. カウンセリングのプロセス
10. 自己理解、他者理解のためのロールプレイ体験①自己紹介
11. " ロールプレイ体験②他者紹介
12. " グループワーク体験①出会い

目指そう

13. // グループワーク体験②気づき
14. // グループワーク体験③深まり
15. ゼミ論の中間発表

●準備学習・事後学習の内容

毎回の演習のテーマごとに、予め、カウンセリングやボランティア関連の専門書で調べて演習に望むこと。
また、演習後は、演習で学んだことの要点をまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

演習時の発表（50%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：こころのうた、著者名：目黒達哉 編、出版社：(株)みらい、販売先：研究室

●参考文献／その他

演習時に紹介する。

●履修上の注意

演習は学生の皆さんが動かしていくものであるから、積極的な参加を望む。